

# 「初心者のためのコンパスと地図読み講習会」 のための勉強会 — 山岳関係者との初コラボ

岐阜県オリエンテーリング協会 牧ヶ野敏明

登山関係者をターゲットにオリエンテーリング界の資産である読図技術を提供し、普及につなげるとともにアウトドアの安全にも貢献する。岐阜県協会ではこの趣旨の元に勉強会を行った。

## インストラクター養成講習会

岐阜県OL協会では、2008年を締めくくるとして、12月21日(日)に岐阜市三田洞「ながら川ふれあいの森」において、「初心者のためのコンパスと地図読み講習会」開催のための勉強会を開催しました。

2006年にインストラクター養成講習会の内容が大幅に改定されましたが、その中でオリエンテーリングの今後の展開の一つとして「登山・アウトドア等とのコラボレーション」が掲げられていました。その翌年の2月には静岡で開催された読図講習会に協会から3名が参加し、5月には「はじめてのコンパスと地図読み」講習会を開催してきました。

## 2008年のOフォーラム

上記の開催経過や5月の講習会の内容や反省点などについて、2008年3月の全日本大会(大阪)に併せ開催されたOフォーラムで発表させて頂きました。発表後の質問の中では、読図講習会開催にあたっての標準化の問題や、指導者レベルの一律化などが課題として指摘されましたが、講習会を何回か開催していく中で、それらの課題をクリアしていくことができるのではないかという意見も出されました。

## コラボとして

その場で行われた課題を受けとめるべく、岐阜県OL協会の2008年度事業として位置づけることとしました。前回は岐阜県山岳連盟の協力を呼びかけましたが、今回は、日本山岳協会の後援も得て、岐阜県山岳連盟に協力依頼したところ、県内の山岳関係指導者対象とした勉強会も希望され、また、愛知・三重のOL協会にも呼びかけて、標記の勉強会を山岳関係者とのコラボレーション事業として位置づけ、村越



▲眺めのよい山頂で、地図と地形を対応する練習をする。

さんを講師として開催することになりました。

## 勉強会開催

参加申し込みにあたっては、地図の読み方・コンパスの使い方について○△×で自己診断してもらいましたが、山岳関係指導者対象と言っても、初心者に近い方の申し込みもあり、指導者としての視点だけでなく、初心者にも指導することも念頭に置くこととなりました。

勉強会前半の午前中は「現在地の把握」「ルート維持」「ルートプラン」などの読図ポイントなどを村越さんから講義していただき、午後は整置、歩測を体験後に、事前に設定した「ふれあいの森」内ルートを歩き、講義にて学習した特徴物などによる現在地把握、等高線から読み取る周りの地形などの確認を学習し、その後、ルートプランを事前書き込んだ上でのミニOLを体験していただきました。

## 参加者アンケートから

参加者アンケートを見ると、「改めて読図の必要性を感じた」「プランニングの大切さがわかった」と初心者に共通する回答がありました。一方、指導者として「読図の基本的な流れが理解できたこと」を評価され、座学としての講義時間を十分確保することを希望され、「登山のための地図の読み方」や「国土地理院の地形図での読図」についての解説を要望されるなど山岳関

係者ならではの回答もありました。また、実習における地図読みについて、現地を確認しながらの指導が良かった点として挙げられていました。

## 今後に向けて

全体を通じて、今回の勉強会についてはほぼ全員が期待通りあるいはそれ以上と評価され、継続的な開催や中級クラスの講習会開催要望もあり、成果はあったと思います。一方で今後のための教訓とし、また、講義内容についても、参加者のレベルに合わせ、内容や講義順などを手直ししていく事が必要と思います。

初心者向けの講習会を2月に開催しますが、今回の反省を十分に反映させていくことが、コラボとしても、今後に繋がるものと思います。

(牧ヶ野敏明)



▲コースを回る前に地図の読みとりを文章化する。オリエンテーリング界では合宿等でおなじみに練習方法が、山岳関係者には新鮮に映ったようだ。